

第 **22** 回

板橋区医師会医学学会

プログラム・演題抄録集

第 22 回医学会巻頭言

板橋区医師会は開かれた医師会を実現し、地域医療保健事業の充実を図り、医療、看護、介護、福祉等で活躍している方の相互の情報交換の場として開催されております。今年、9月2日（土）と3日（日）に板橋区立文化会館で開催いたします。

1日目には約360医療機関の板橋区医師会会員、医療関係者、介護関係者を対象に、医療・介護に関する一般演題と「認知症の現状と課題～診断・対策・ケア～」要望演題で構成されている演題発表97題、第4回公益社団法人板橋区医師会若手医師奨励賞授賞式・受賞研究発表を行います。その後、もの忘れ相談医養成研修会を兼ねた教育講演を企画しています。

「認知症高齢者をめぐる諸問題」の演題で東京都健康長寿医療センター研究所 自立促進と介護予防研究チーム 研究部長の栗田圭一先生にご講演をいただくことになっております。

2日目は区民公開講座です。昨年に続き、午前中は映画上映「徘徊ママリン 87歳の夏」（日本医師会推薦）を上映いたします。場面は大阪の大都会に住む母娘が、ズレまくる掛け合いの中にも、ユーモアと人情を感じる映画です。認知症の方が地域で暮らす姿を描写している映画で、超高齢社会の現代でも普通に見ることができる光景であり、鑑賞された方の心に印象を残すことができる映画だと思います。

午後のプログラムは、特別講演とシンポジウムです。健康寿命延伸が叫ばれる中、元気で老いていくことをテーマにしております。そこで「健康長寿の秘訣：最近の考え方」の講演を東京都健康長寿医療センター理事長井藤英喜先生にお願いしました。

シンポジウムは健康寿命の延伸には必要な知識の提供として、「元気な高齢者を目指して！フレイルって何ですか？」をテーマとしました。整形外科医から「いきいきシニアライフ」、歯科医から「お口の健康、あなたは大丈夫？」、ソーシャルフレイル予防の立場から日頃地域で活動している特定非営利活動法人から「つながりが生きる力と地域力をつくる」それぞれミニ講演をしていただきます。その後、ディスカッションと実技編として「やってみよう！フレイルチェック」をご来場の参加者にも、実際参加し、フレイルチェックをしていただきます。

本医学会を通して板橋区医師会に対する皆様のご理解ご支援をお願いしましてご挨拶とさせていただきます。

板橋区医師会医学会
会 長 水野 重樹

第4回公益社団法人板橋区医師会 若手医師奨励賞について

板橋区医師会では、板橋区内の医療を担う若手医師の育成を目的に、「公益社団法人板橋区医師会若手医師奨励賞」を平成26年度に設立しました。この賞は、日常診療への示唆に富む臨床症例の経験、臨床・社会医学研究を通じて、実践的で創造的な活動を行っている、満40歳未満（平成29年6月30日現在）の板橋区内に常時勤務している若手医師やそのグループを対象にしております。

昨年度は、最優秀賞1名と優秀賞2名の先生方を選考させていただきました。

今年度も第22回板橋区医師会医学会において、書類選考により選ばれた奨励賞対象の先生方数名に口頭で発表を頂き、併せて授賞式を執り行わせて頂きます。是非、多くの会員の先生方、並びにご関係の方々には、ご参加頂きますようお願い申し上げます。

次年度以降も本奨励賞を継続していく予定です。医師会として、板橋区内の医療の発展に少しでも寄与できればと考えております。

第4回公益社団法人板橋区医師会 若手医師奨励賞 授賞式 および 受賞研究発表

日時：平成29年9月2日(土) 午後4時30分より

場所：板橋区立文化会館 小ホール

板橋区医師会医学会開催一覧（平成 8 年～平成 28 年）

回数	開催日	プログラム
第 1 回	1996 年（平成 8 年） 6/22・23	特別講演 がん診療の現状－終末期医療について－ シンポジウム 21 世紀に向けた地域医療について－現状と将来について－
第 2 回	1997 年（平成 9 年） 7/26・27	特別講演 高齢化社会における医療・保健・福祉の目標と評価 シンポジウム 板橋区における大災害時の医療対策 板橋区における在宅医療の構築
第 3 回	1998 年（平成 10 年） 8/29・30	シンポジウム 幼児学童期の精神面の諸問題と現場での対応 介護保険と医療・福祉の連携
第 4 回	1999 年（平成 11 年） 7/10・11	特別講演 医療制度改革案について（特に参照価格制度について） シンポジウム 幼児学童期の感染症 板橋区における介護保険の準備（本音で語る介護保険）
第 5 回	2000 年（平成 12 年） 8/26・27	特別講演 胃癌診断・治療の進歩 シンポジウム 小児救急 介護保険の現状と問題点
第 6 回	2001 年（平成 13 年） 7/14・15	特別講演 医療と情報 シンポジウム 小児の生活習慣病 成人における生活習慣病を考える
第 7 回	2002 年（平成 14 年） 9/28・29	特別講演 お医者さんのかかり方が変わる？ シンポジウム 小児のアレルギー－アレルギーを知りましょう－ 病院のかかり方－かかりつけ医をもちましょう－
第 8 回	2003 年（平成 15 年） 9/27・28	特別講演 新型ウイルス性肺炎 SARS（重症急性呼吸器症候群） シンポジウム 板橋区健康づくり 21 計画－健康でいきいきとした暮らしをめざして－ 身近な感染症の予防－あなたももう一度見直しませんか－
第 9 回	2004 年（平成 16 年） 9/25・26	特別講演 地域で痴呆を支える：かかりつけ医の役割 シンポジウム ころの生涯健康を考える 『たばこ』健康づくり・まちづくりの視点から－健康づくり応援型のまちの実現をめざして－
第 10 回	2005 年（平成 17 年） 9/24・25	特別講演 若年者の性行動に向き合って シンポジウム 健やかな老後をめざして－介護予防と疾病予防－ これからの板橋の認知症ケアを考える AED 講習会
第 11 回	2006 年（平成 18 年） 9/23・24	教育講演 健診を評価する：その意義と方法 特別講演 健康づくりの食べ方と玄米ニギニギダンベル体操 シンポジウム 板橋区の子育て支援 板橋区における脳卒中对策について AED 講習会
第 12 回	2007 年（平成 19 年） 9/8・9	教育講演 特定健診・特定保健指導－地域における新たな生活習慣病予防システムの構築－ 特別講演 メタボリックシンドロームを撲滅するために シンポジウム 気になる感染症－一体、いま何が問題なの!?－ いざ、病気になったら－効率的な医療機関へのかかり方－ AED 講習会
第 13 回	2008 年（平成 20 年） 9/6・7	教育講演 医療関連死と監察医制度 要望演題 健診・検診 終末期医療とケア 特別講演 豊かな生、豊かな死のために シンポジウム 子どもの心のケアについて 実践！メタボリックシンドローム撲滅 AED 講習会

回数	開催日	プログラム
第14回	2009年(平成21年) 9/26・27	<p>教育講演 医療と政治－医政活動の原点を考える</p> <p>指定演題 糖尿病の介護と保健について</p> <p> 穏やかな最期を迎えるための医療と介護</p> <p>特別講演 糖尿病の早期治療の意義は？／特定健診・一般健診を活かそう</p> <p>シンポジウム 考えよう日本のあした－見直そう 子どもの生活習慣－</p> <p> 早く見つけよう！－がんなんて怖くない－</p> <p>AED講習会</p>
第15回	2010年(平成22年) 9/25・26	<p>教育講演 超高齢社会における医療介護の展望</p> <p>指定演題 退院前カンファレンス～入院から在宅まで、切れ目のない連携～</p> <p> 施設間連携 二人の主治医(共同診療)</p> <p>特別講演 自分らしい死をどう迎えるか</p> <p>シンポジウム 次世代を担う子どもの健康を守るために</p> <p> 在宅でも安心！医療と介護</p>
第16回	2011年(平成23年) 9/24・25	<p>教育講演 いつか大事故が起こる－平穏無事は危険信号－</p> <p>要望演題 小児在宅医療</p> <p> 退院を含めた在宅療養支援</p> <p> 災害医療支援(東日本大震災を中心として)</p> <p>特集 口コモと介護予防－寝たきりを防止するために－</p> <p>特別講演 認知症！地域の力で支えよう</p> <p>シンポジウム 子育てアドバイス</p>
第17回	2012年(平成24年) 9/29・30	<p>教育講演 東京都医療連携手帳の普及に向けて－がん診療に求められる医療連携－</p> <p>要望演題 胃ろう(経管栄養法)を考える</p> <p> 医療・介護現場における患者対応</p> <p>特別講演 いのちを商品にした国アメリカ～日本の宝を守るには～</p> <p>シンポジウム 「災害と医療」</p> <p> 午前の部「災害時の医療ネットワーク」</p> <p> 午後の部「東日本大震災に学ぶ災害時の医療」</p>
第18回	2013年(平成25年) 12/7・8	<p>教育講演 最近の医療訴訟の傾向と対策～診療所の法的リスクマネジメント～</p> <p>要望演題 地域における多職種連携</p> <p> 糖尿病に関わる複数科連携</p> <p>『宇宙医学の社会への還元』</p> <p>特別講演 宇宙と健康－安全な暮らしを支える宇宙開発－</p> <p>トークセッション 有人宇宙飛行 黎明期に活動した二人の医師と宇宙飛行士が語る</p> <p>シンポジウム 宇宙医学と健康長寿</p>
第19回	2014年(平成26年) 9/13・14	<p>教育講演 新型骨粗鬆症の恐怖～生活習慣病は要注意～</p> <p>要望演題 小児医療に関する最近の話題</p> <p>特別講演 人生の最期を穏やかに過ごすために</p> <p>シンポジウム 今日からできる認知症の予防</p> <p>映画上映 「最高の人生の見つけ方」</p>
第20回	2015年(平成27年) 9/12・13	<p>教育講演 専門医としての総合診療医～専門医制度とかかりつけ医の役割～</p> <p>要望演題 難病・がん患者に対する新たな治療・療養の支援</p> <p>特別講演 和食と健康</p> <p>シンポジウム 脳卒中の予防と治療</p> <p>映画上映 「エンディングノート」</p>
第21回	2016年(平成28年) 9/10・11	<p>教育講演 診療関連死と監察医制度</p> <p>要望演題 癌の予防・早期発見・治療・リハビリ・終末期</p> <p>シンポジウム 認知症を地域が支える、みんなで支える</p> <p> 基調講演 認知症とともに生きる社会に向けて</p> <p> 対談講演 認知症とともに、よりよく生きる</p> <p> 活動紹介</p> <p>映画上映 「ペコロスの母に会いに行く」</p>

演題発表について

○口演発表の方へ

1. 発表時間は、口演発表5分、質疑討論3分の合計8分です
※発表時間厳守をお願いします
進行につきましては、座長より指示がございます
2. PCによるご発表が可能です
3. 発表されるセッションの約30分前には2階小ホール前の総合受付へお越しください
4. PCを使用される場合は試写をいたしますので、2階小ホール前の総合受付後、「PC受付」にお立ち寄りください
5. 枚数制限はございませんが、口演時間内で無理のないようご注意ください
6. 発表時間10分前までには、発表会場内最前列左手の席にてお待ちください
7. スクリーン1面映写となっております

○PCを使用される方へ

ご発表に際してはUSBフラッシュメモリ、CD-R、またはPC本体（Windows、Macintosh）をお持ち込みください

◆USBメモリまたはCD-R持ち込みの場合（Windowsご使用で、ご発表内容に動画がない方）

- ・本会が準備する環境はWindows、PowerPoint 2003/2007/2010/2013/2016です
- ・フォントは、文字化けやズレを防ぐためにOS標準のものをご使用ください
推奨フォント 日本語：MS明朝、MSゴシック 英語：Century

◆PC持ち込みの場合（Macintoshご使用の方または、ご発表内容に動画がある方）

- ・本会が準備するプロジェクタケーブルの端子は「ミニD-Sub15ピン」です
これに対応するPCをご持参ください
一部小型PC、Macintoshをご利用の方は変換コネクタをご用意ください
- ・スクリーンセーバー、省電力設定、個人認証などの機能はあらかじめ解除しておいてください
- ・発表中または準備中にバッテリー切れとなる恐れがありますので、電源コードは忘れずにご用意ください

※注意事項

当日、会場ではデータ修正はできません

念のため、バックアップデータを必ずお持ちください

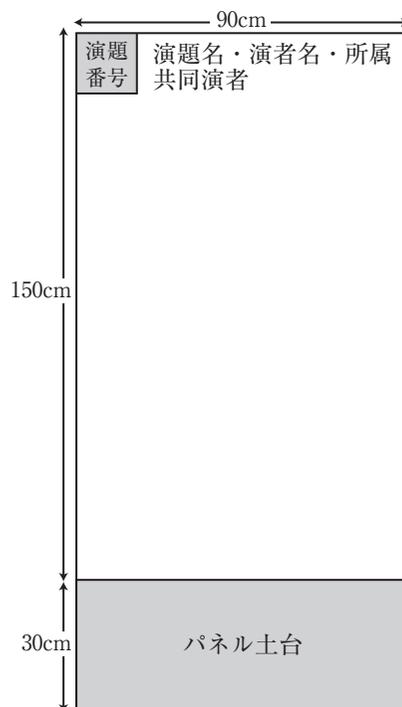
作成したデータは、作成にご使用したPC以外でのPCで必ず動作をご確認ください

○演題発表座長の方へ

担当セッション開始 30 分前までに 2 階小ホール前の総合受付にて受付をすませ、10 分前には発表会場内最前列右手の席にてお待ちください

○ポスター発表の方へ

1. ポスターは 2 階小ホール前のスペースに掲示いたします
2. 13:30 までに 2 階小ホール前の総合受付にて受付をすませ、ご自身で掲示をお願いします
貼付に必要な画鋏は事務局で用意いたします
3. ポスターは右図の要領で作成してください
サイズ 横 90cm × 縦 150cm
(PowerPoint 60cm × 100cm で制作いただき、1.5 倍で出力)
演題番号・演題タイトル
ポスター内に記載をお願いします
4. ポスターは掲示のみで、発表はございません
5. ポスター掲示時間は 13:30 ~ 17:15 までとなっております
ご自身で持ち帰る場合は 17:15 ~ 17:30 の間に撤去をお願いいたします
時間が過ぎましたら事務局で撤去処分いたします



【取得可能な単位等】

医学会に参加することにより以下の単位等が取得できます。

9/2 (土)

<p>■教育講演 17:00～18:00 (もの忘れ相談医養成研修会)</p> <p>「認知症高齢者をめぐる諸問題」</p> <p>東京都健康長寿医療センター研究所 自立促進と介護予防研究チーム研究部長 栗田 主一</p>	<p>・日医生涯教育単位 29【認知能の障害】1単位 ・もの忘れ相談医養成研修 1単位</p>
---	---

お問い合わせ先 公益社団法人 板橋区医師会 〒173-0012 板橋区大和町 1-7

TEL. 03-3962-1301 FAX. 03-3964-3652

E-mail igakukai@itabashi.tokyo.med.or.jp



日程表 会場案内図

◆ 日 程 表 ◆

1 日 目 9/2(土)

	第 1 会場 小ホール(2F)	第 2 会場 大会議室(4F)	第 3 会場 第 3 会議室(3F)
13:00	開会挨拶		
14:00	13:30 - 14:18 要望演題 1 「認知症の現状と課題 ～診断・対策・ケア～」	13:30 - 14:18 一般演題 1 (看護)	13:30 - 14:02 一般演題 5
15:00	14:30 - 15:18 要望演題 2	14:18 - 15:06 一般演題 2 (看護)	14:02 - 15:06 一般演題 6
16:00	15:25 - 16:21 要望演題 3	15:06 - 15:54 一般演題 3 (看護)	15:06 - 16:02 一般演題 7
17:00	16:30 - 17:00 第 4 回公益社団法人 板橋区医師会若手医師奨励賞 授賞式および受賞者発表	15:54 - 16:50 一般演題 4 (看護)	16:02 - 16:34 一般演題 8
18:00	17:00 - 18:00 教育講演(もの忘れ相談医養成研修会) 講師： 東京都健康長寿医療センター研究所 自立促進と介護予防研究チーム 研究部長 栗田 主一	18:05 - 19:30 懇親会	
19:00			
20:00			

2日目 区民公開講座 9/3(日)

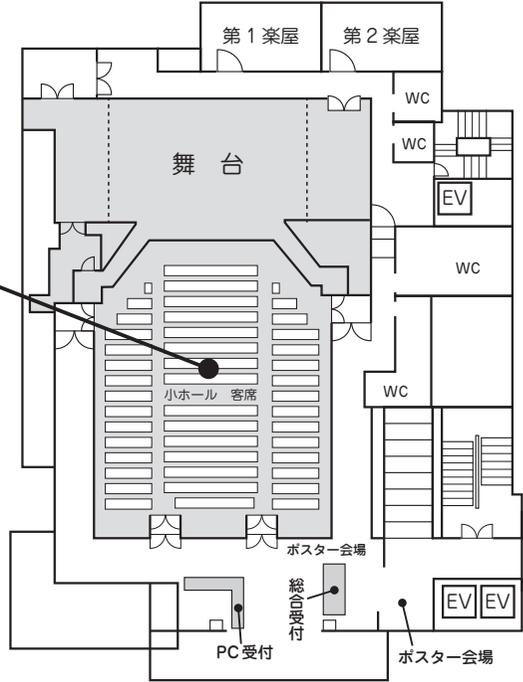
第4会場 第4会議室(3F)	ポスターセッション 小ホール(2F)ロビー
13:30 - 14:26 一般演題 9	13:30 - 17:15
14:26 - 15:22 一般演題 10	
15:22 - 16:10 一般演題 11	
16:10 - 16:42 一般演題 12	

会場 大ホール	
9:30	
10:00	開場
11:00	10:30-11:50 映画上映 「徘徊マリリン87歳の夏」
12:00	
13:00	挨拶 13:00-15:45 <ul style="list-style-type: none"> ■ 特別講演 「健康長寿の秘訣：最近の考え方」 ■ シンポジウム 「元気な高齢者を目指して！ フレイルって何ですか？」
14:00	<ol style="list-style-type: none"> 1. いきいきシニアライフ 2. お口の健康、あなたは大丈夫？ 3. つながりが生きる力と 地域をつくる 4. 【実技編】 やってみよう！ フレイルチェック
15:00	
16:00	
17:00	

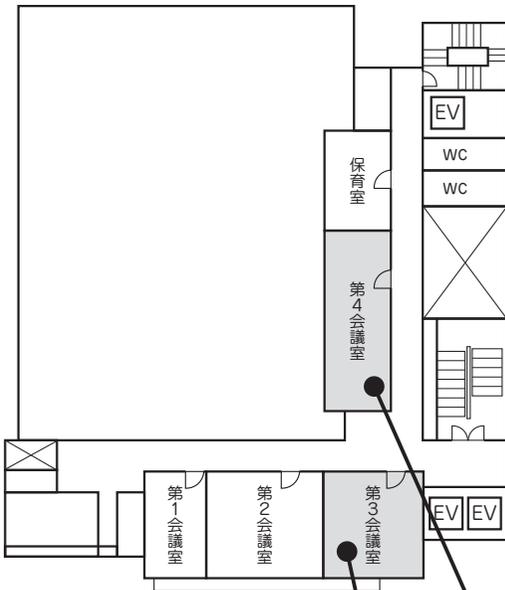
会場案内図

文化会館 2F

第1会場 (小ホール)



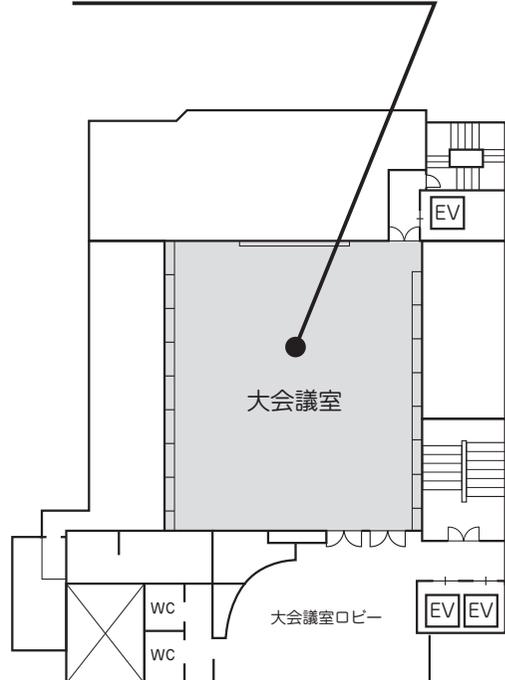
文化会館 3F



第3会場 (第3会議室)

第4会場 (第4会議室)

第2会場 (大会議室)



文化会館 4F

■ ■ ■ プログラム ■ ■ ■

9月2日 第1会場 2F小ホール

要望演題 「認知症の現状と課題～診断・対策・ケア～」

日本では2025年に向けて、今以上に認知症患者が増加していくと予測され、その対応が喫緊の課題となっています。

認知症の予防、診断と治療、入院・外来・在宅での取り組み、また施設や介護の現場での経験など、症例報告を含め、認知症に関連する演題を医師、看護師をはじめ各職種から幅広くご報告いただき、その成果を共有していきたいと考えます。

13:30—14:18

要望演題 1

座長：石川 徹（板橋区医師会副会長・小豆沢病院附属本蓮沼診療所院長）

- 1-1 板橋区の認知症施策～認知症になってもあんしんなまち板橋をめざして～
福寿容子（板橋区健康生きがい部 おとしより保健福祉センター認知症施策推進係）
- 1-2 帝京大学医学部附属病院メンタルヘルス科「もの忘れ検査入院」の取り組み
栃木 衛（帝京大学医学部附属病院 メンタルヘルス科）
- 1-3 地域密着型病院における「物忘れ相談外来」の実態と課題
安田小百合（安田病院 内科）
- 1-4 認知症に対する区民意識調査～平成28年度板橋区民まつりアンケート集計～
加藤喜之（板橋区医師会）
- 1-5 板橋区における認知症初期集中支援事業について
湊 理恵（板橋区健康生きがい部 おとしより保健福祉センター認知症施策推進係）
- 1-6 2016年度認知症初期集中支援チームの活動事例から
佐藤 恵（佐藤クリニック・認知症サポート医）

14:30—15:18

要望演題 2

座長：齋藤英治（板橋区医師会副会長・齋藤医院院長）

- 1-7 A区における認知症アウトリーチチームの現状と課題
～ソーシャルワーカーの視点から～
齋藤久美子（東京都健康長寿医療センター）
- 1-8 認知症相談支援における療養相談室の役割を考える～認知症に関する相談実績より～
榎本浩典（板橋区医師会在宅医療センター 療養相談室）
- 1-9 認知症看護の現状と課題～当院のワンディ調査結果報告～
高久陽子（東京都保健医療公社豊島病院 看護部）

○ 1-10 地域包括ケア病床における認知症患者の対応

山本早紀（安田病院 看護部）

○ 1-11 板橋区脳卒中懇話会回復期リハ病院 DB から見た高次脳機能障害と MMSE の現状

弓倉 整（板橋区医師会）

○ 1-12 当センターにおける高齢者に対する運動療法の効果について～身体機能と精神機能について～

小山照幸（東京都健康長寿医療センター リハビリテーション科）

15:25—16:21

要望演題 3

座長：鈴木育夫（板橋区医師会副会長・鈴木医院院長）

○ 1-13 認知症高齢者を支える食支援

澁谷英介（板橋区歯科医師会）

○ 1-14 認知症患者に対する歯科治療の現状

古市靖夫（板橋区歯科医師会）

○ 1-15 身体機能低下があり認知機能低下も疑われた方への対応例

田村憲彦（田村はり治療院）

○ 1-16 介入を拒否する在宅認知症患者への対応

多嶋智英美（板橋区医師会訪問看護ステーション）

○ 1-17 認知症高齢者の看護を通して学んだこと

～生理的欲求の充足でせん妄回復に至った事例を通して～

深堀恵子（板橋区医師会病院 看護部 N5 病棟）

○ 1-18 FTD の BPSD に対する多職種アプローチ：切れ目ないケアを目指して

扇澤史子（東京都健康長寿医療センター）

○ 1-19 言語障害で発症する認知症～原発性進行性失語～

桑原 碧（帝京大学医学部附属病院 神経内科）

16:30—17:00

第 4 回公益社団法人板橋区医師会 若手医師奨励賞授賞式 および 受賞研究発表

17:00—18:00

教育講演（もの忘れ相談医養成研修会）

座長：吉野正俊（板橋区医師会理事）

「認知症高齢者をめぐる諸問題」

栗田主一（東京都健康長寿医療センター研究所 自立促進と介護予防研究チーム 研究部長）

※ 日医生涯教育単位 29 認知能の障害（1 単位）

もの忘れ相談医養成研修（1 単位）

9月2日 第2会場 4F 大会議室

13:30—14:18

一般演題1(看護)

座長：山田尚子（日本大学医学部附属板橋病院 看護部部長補佐）

- 2-1 看護必要度の評価・記録の精度を向上し 25%以上を維持する
～A病棟の看護師増員のために～
新名絵里（日本大学医学部附属板橋病院 看護部 6D 病棟）
- 2-2 外来中央処置室と各診療科との連携を考える～業務アンケートから、見えてきたこと～
平澤恵美子（板橋区医師会病院 看護部）
- 2-3 褥瘡発生リスクがある患児との関わりで学んだこと
矢部紅葉（東京都保健医療公社豊島病院 看護部 4B 病棟）
- 2-4 看護師の骨盤底筋体操指導の統一を目指して～高齢者の排尿障害に対する看護～
斉藤綾香（日本大学医学部附属板橋病院 看護部 5A 病棟）
- 2-5 ADL 拡大に向けた患者の行動変容に繋げるための看護者の関わり
伊藤美香（板橋区医師会病院 看護部 S3 病棟）
- 2-6 高齢者夫婦の自宅療養に向けた介入～ストレングスモデルを用いて～
藤村真紀（東京都健康長寿医療センター 看護部 6 階西病棟）

14:18—15:06

一般演題2(看護)

座長：川村朋子（東京都保健医療公社豊島病院 看護部副看護部長）

- 2-7 誤嚥性肺炎予防のための口腔ケアを徹底する試み
千葉一喜（板橋区医師会病院 看護部 S5 病棟）
- 2-8 誤嚥性肺炎患者の早期経口摂取の必要性～口腔内の変化から～
後藤彩美（東京都健康長寿医療センター 看護部 10 階西病棟）
- 2-9 皮膚疾患による掻痒感の強い患児への関わり
中谷ひかり（東京都保健医療公社豊島病院 看護部 4B 病棟）
- 2-10 診療所の災害対策への取り組み
北村智美（石川医院）
- 2-11 多職種連携による外来化学療法患者の食生活改善の1症例
折原康子（板橋区医師会病院 看護部）
- 2-12 精神科病棟における持ち込み物品の制限の再検討
中川慶子（日本大学医学部附属板橋病院 看護部 8B 病棟）

15:06—15:54

一般演題3(看護)

座長：服部俊夫（東京都健康長寿医療センター 看護部副看護部長）

- 2-13 孤独感から間食をやめられない高齢者に対し肯定的な関わりを糖尿病透析予防外来で行いデータの維持に繋がった1症例
中村千恵美（日本大学医学部附属板橋病院 看護部内科外来）

- 2-14 補助人工心臓装着患者の心理と効果的な介入
高崎有理奈（東京都健康長寿医療センター 看護部 5階東病棟）
- 2-15 術後経過不良の1症例を通しての看護者の関わり
小林香緒里（板橋区医師会病院 看護部 S4病棟）
- 2-16 術後せん妄を発症した患者との関わりを通して
～リアリティオリエンテーションの実践～
福田婚子（東京都健康長寿医療センター 看護部 7階西病棟）
- 2-17 限りある資源で褥瘡改善に取り組んだ症例報告
石井 幸（慈誠会前野病院 看護部 4階病棟）
- 2-18 終末期患者と家族に対する看護～看護師としての関わり方について～
大野百合子（板橋区医師会病院 看護部 N5病棟）

15:54—16:50

一般演題4(看護)

座長：河上淳子（板橋区医師会病院 看護部長）

- 2-19 自己注射が導入された高齢糖尿病患者の心理・行動的反応の変遷と看護援助
永田恭子（東京都健康長寿医療センター 看護部 11階東病棟）
- 2-20 糖代謝異常の初産婦における不安を軽減する援助について
肥田真寿美（板橋区医師会病院 看護部 N4病棟）
- 2-21 特定妊婦の児の一時保護に対する思いと受け止め方の一考察
～地域連携チームとの認識のズレの体験から～
佐藤桂子（東京都保健医療公社豊島病院 看護部）
- 2-22 ターミナルケアに携わる看護師のとまどい～看護観の共有がもたらす意識の変化～
大槻一代（日本大学医学部附属板橋病院 看護部 6D病棟）
- 2-23 終末期のがん患者と家族に対する退院支援
椎本さやか（板橋区医師会病院 看護部 S4病棟）
- 2-24 インタビューフォームを用いたレジリエンス事例の分析
上野京子（帝京大学医学部附属病院 安全管理部）
- 2-25 地域連携推進に向けた医療連携センターの2016年度活動報告
古屋克己（日本大学医学部附属板橋病院 医療連携センター）

18:05—19:30

懇親会

9月2日 第3会場 3F 第3会議室

13:30—14:02

一般演題 5

座長：長尾聡哉（板橋区医師会病院 整形外科部長）

- 3-1 プレガバリン服用方法の変更により副作用の大幅な軽減を経験した小報告
木村英植（木村整形外科）
- 3-2 高齢者における身体機能と身体能力認識が隙間通過時の運動戦略に及ぼす影響
須藤大輔（帝京大学医学部附属病院 リハビリテーション部）
- 3-3 転倒リスクの高い高齢者に対し E-SAS を使用した評価
～通院リハビリテーションを実施した効果の検討～
久保田潤（中小路整形リハビリクリニック）
- 3-4 大腿骨近位部骨折の転帰先の検討における GNRI の有用性について
石塚亮平（帝京大学医学部附属病院 リハビリテーション部）

14:02—15:06

一般演題 6

座長：大野安実（板橋区医師会理事・おおの内科クリニック院長）

- 3-5 腹腔鏡下術後、自然軽快した着床部位不明妊娠の1例
山下有紀（板橋区医師会病院 産婦人科）
- 3-6 DPC データの示す西北部医療圏における脳卒中治療の現状
上野俊昭（東京都健康長寿医療センター 脳神経外科）
- 3-7 術前の脳血管内治療が有効であった小脳血管芽腫の1例
熊谷廣太郎（東京都保健医療公社豊島病院 脳神経外科）
- 3-8 栄養血管塞栓後摘出術を施行した頸動脈小体腫瘍の1例
清田 満（東京都保健医療公社豊島病院 脳神経外科）
- 3-9 当院総合診療 ER センターにて経験したアニサキス症の検討
立澤直子（帝京大学医学部 救急医学講座）
- 3-10 ナロキソン持続投与で循環管理が可能となったオキシコンチン[®] 過量服薬の1例
織田美紀（日本大学医学部 救急医学系救急集中治療医学分野）
- 3-11 両眼に発症した原因不明の角膜潰瘍の1例
高浦典子（板橋区医師会病院 眼科）
- 3-12 未熟児網膜症による黄斑偏位を伴う偽外斜視に対して斜視手術を施行した1例
佐々木梢（帝京大学医学部 眼科学講座）

15:06—16:02

一般演題7

座長：安田武史（板橋区医師会医学委員会委員・安田病院院長）

- 3-13 ケアプランが持つ分析特性を病院経営へ応用した事例
村尾和俊（慈誠会前野病院）
- 3-14 医療安全能力アップに向けた医療安全 e-Learning：患者誤認を例に
鈴木和男（帝京大学医学部附属病院 安全管理部）
- 3-15 診療所側から見た板橋区のがん患者の流れ～その問題点を考える～
依藤 壽（よりふじ医院）
- 3-16 災害時の「食べる」を支える取り組み～院内職員の応援を含めた体制整備～
金澤陽子（東京都保健医療公社豊島病院 栄養科）
- 3-17 がん治療を受けている患者さんの「食べる」を支える取り組み（第2報）
～看護部との連携による外来化学療法室等の栄養食事指導体制の構築～
永井右来子（東京都保健医療公社豊島病院 栄養科）
- 3-18 乳房専用全自動超音波診断装置（Invenia ABUS）の有用性について
櫻井健一（日本大学医学部 外科学系乳腺内分泌外科学分野／藤崎病院 外科）
- 3-19 超音波検査で多彩な腫瘍像を複数個認めた乳癌症例
安達慶太（日本大学医学部 外科学系乳腺内分泌外科学分野／藤崎病院 外科）

16:02—16:34

一般演題8

座長：浅倉公治（板橋区医師会理事・浅倉内科クリニック院長）

- 3-20 プレインバンクプロジェクトと在宅医療
小幡真希（東京都健康長寿医療センター 高齢者バイオリソースセンター）
- 3-21 前立腺癌に対する IGRT を採用した放射線治療の臨床的検討
伊藤清香（東京都保健医療公社豊島病院 放射線科）
- 3-22 「はすのみ教室」で行う「腰痛・膝痛転倒予防コース」の効果について
横田 晃（板橋区柔道整復師会）
- 3-23 柔道整復技術～副子固定材料の変遷～
山本 清（板橋区柔道整復師会）

9月2日 第4会場 3F 第4会議室

13:30—14:26

一般演題 9

座長：藤田雅巳（板橋区医師会医学会委員会委員・藤田医院院長）

- 4-1 板橋区脳卒中懇話会による板橋区における心原性脳塞栓と抗凝固薬の関係
弓倉 整（板橋区医師会）
- 4-2 若年女性に生じた Myocardial Infarction With No Obstructive Coronary Atherosclerosis (MINOCA) の1例
八田拓海（日本大学医学部附属板橋病院 循環器内科）
- 4-3 超高齢社会における潜在的な心不全患者の疫学
加藤真帆人（日本大学医学部附属板橋病院 循環器内科）
- 4-4 不定愁訴による頻回の救急外来受診を契機として肝内門脈シャントによる高アンモニア血症の診断に至った右室流出路狭窄の1例
二見崇太郎（東京都健康長寿医療センター 循環器内科）
- 4-5 MICS 症例の報告
尾澤直美（帝京大学医学部 心臓血管外科学講座）
- 4-6 冠動脈多枝病変と大動脈高位閉塞型重症虚血肢に対する同時血行再建
北住善樹（日本大学医学部附属板橋病院 心臓血管外科）
- 4-7 左房粘液腫に対して摘出術を行った超高齢者の1例
村田知洋（東京都健康長寿医療センター 心臓外科）

14:26—15:22

一般演題 10

座長：萩原照久（板橋区医師会医学会委員会委員・萩原医院院長）

- 4-8 350U/mL以上と測定上限をこえる抗体価を呈し、アルブミン置換と FFP 置換による血漿交換を行った、抗 GBM 抗体型急速進行性糸球体腎炎の1例
柳川英輝（東京都保健医療公社豊島病院 腎臓内科）
- 4-9 クロストリジウム・ディフィシル関連腸炎の治療中にメトロニダゾール誘発性脳症を発症した CKD 患者の1例
北川幸子（帝京大学医学部 内科学講座）
- 4-10 IV (A/C) + V型ループス腎炎に対し4剤併用療法を行った1例
板宮孝紘（帝京大学医学部 内科学講座）
- 4-11 最近経験した粟粒結核の9症例
中本匡治（日本大学医学部 内科学系呼吸器内科学分野）
- 4-12 特異性間質性肺炎急性増悪に関する剖検症例を用いた検討
日野春秋（東京都健康長寿医療センター 呼吸器外科）

○ 4-13 往診医との連携により化学療法の継続が可能であった小細胞肺癌の1例
石原昌志（帝京大学医学部 内科学講座腫瘍内科）

○ 4-14 板橋サバイバーシップ研究会活動報告
～患者と家族を支える多職種による研修の取り組み～
渡邊清高（帝京大学医学部内科学講座 腫瘍内科）

15:22—16:10

一般演題 11

座長：平山貴度（板橋区医師会理事・平山医院院長）

○ 4-15 豊島病院小児科における新規てんかん患者の診療状況
中澤友幸（東京都保健医療公社豊島病院 小児科）

○ 4-16 気管内挿管による気道確保を必要としたクループ症候群の1例
蔵元 怜（帝京大学医学部附属病院 小児科）

○ 4-17 十二指腸狭窄を呈しアレルギー除去療法が奏効した好酸球性胃腸炎の1例
花田 学（帝京大学医学部附属病院 小児外科）

○ 4-18 胃潰瘍を認めたIgA 血管炎（ヘノッホ・シェーンライン紫斑病）の1例
清水翔一（日本大学医学部附属板橋病院 小児科）

○ 4-19 吸入手技不良は気管支喘息・COPD の増悪入院に寄与している
前田光平（帝京大学医学部附属病院 薬剤部）

○ 4-20 板橋区休日調剤薬局開局事業への対応
高橋 賢（板橋区薬剤師会）

16:10—16:42

一般演題 12

座長：三上寛人（板橋区医師会医学会委員会委員・三上整形外科医院院長）

○ 4-21 隆起性皮膚線維肉腫の1例
高田記代子（板橋区医師会病院 外科）

○ 4-22 骨吸収抑制薬関連顎骨壊死においてテリパラチド製剤投与後に腐骨除去を
施行した1例
森美由紀（東京都健康長寿医療センター 歯科口腔外科）

○ 4-23 デノスマブ・レナリドミドにより発症した多発性骨髄腫における
骨吸収薬関連顎骨壊死の1例
奥村拓真（東京都健康長寿医療センター 歯科口腔外科）

○ 4-24 前立腺癌で骨転移を来した緩和ケア患者における骨吸収抑制薬関連顎骨壊死に対して
周術期口腔機能管理を実施した2例
森 美菜（東京都保健医療公社豊島病院 歯科口腔外科）

ポスターセッション 2F小ホールロビー

13:30—17:15

- P-1 板橋区肝炎ウイルス検診結果報告（平成 28 年度）
石川 徹（板橋区医師会肝炎検診班／小豆沢病院 内科）
- P-2 呼吸器疾患スクリーニング検診班の活動について
大森千春（板橋区医師会 呼吸器疾患スクリーニング検診班）
- P-3 平成 28 年度板橋区学校検尿結果について
鈴木育夫（板橋区医師会 尿検診班）
- P-4 平成 27 年度・28 年度の板橋区肺がん検診の現状
萩原照久（板橋区医師会 胸部読影班）
- P-5 板橋区版 AIP における板橋区医師会の役割
吉野正俊（板橋区医師会）
- P-6 2016 年度板橋区喉頭がん検診について
河原秀明（板橋区耳鼻咽喉科医会）

9月3日(日) 区民公開講座 共催：板橋区 【会場：大ホール】

■映画上映 「徘徊 マリリン 87歳の夏」

10：30 - 11：50

母娘のズレまくりの掛け合いに思わず大爆笑！
従来の認知症ドキュメンタリー映画のイメージを変える傑作ドキュメンタリーが
大阪から生まれました。
不謹慎にもつい笑ってしまう、前代未聞の認知症ドキュメンタリー映画！

■挨拶

来賓，主催者

13：00 - 15：45

■特別講演 「健康長寿の秘訣：最近の考え方」

座長 板橋区医師会長 水野 重樹

講師：東京都健康長寿医療センター理事長……………井藤 英喜

■シンポジウム 「元気な高齢者を目指して！フレイルって何ですか？」

座長 板橋区医師会副会長 石川 徹

板橋区医師会理事 大野 安実

① いきいきシニアライフ

板橋区医師会理事／仁木医院……………仁木美奈子

② お口の健康，あなたは大丈夫？

板橋区歯科医師会副会長……………小林 顕

③ つながりが生きる力と地域力をつくる

特定非営利活動法人みんなのたすけあいセンターいたばし理事長……………加藤 勉

④ 【実技編】 やってみよう！フレイルチェック

※区民公開講座は申込制となっています（定員 1,200 名）。

参加ご希望の方は，往復ハガキに

①区民公開講座申込 ②郵便番号・住所 ③氏名（ふりがな） ④年齢

⑤電話番号 ⑥職業

を明記のうえ，板橋区医師会医学会事務局宛（〒173-0012 板橋区大和町1-7）へ
お申し込みください。定員になり次第締切となります。